

信州大学医学部附属病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
薬剤部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 27 年 7 月 24 日

「臓器移植後の免疫抑制剤の血中濃度変動に及ぼす因子の検討」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2330
課題名	臓器移植後の血中濃度変動に及ぼす因子の検討
研究機関	信州大学医学部附属病院
研究責任者	信州大学医学部附属病院 (薬剤部長 大森 栄)
研究実施期間	2013 年 7 月 2 日～2018 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	移植後に使用されます免疫抑制剤(タクロリムスやシクロスポリン)は血中濃度(血液の中にどのくらい薬があるか)を確認しながらお薬の量を決めます。しかしながら、併用する薬等によりその血中濃度が大きく変化することがあります。そこで、本研究は、免疫抑制剤の血中濃度の変動しやすい人としにくい人の併用薬や検査値にどんな違いがあるのか調べる事を目的としています。
対象患者様	2009 年 4 月から 2015 年 6 月の期間に当院で臓器移植後(肝移植、腎移植、造血幹細胞移植)にタクロリムスまたはシクロスポリンによる治療を受けた方
利用カルテ情報	診断名、年齢、性別、使用薬剤、検査結果

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 臨床研究支援センター 三村 享 (電話: 0263-37-3075)